

伊藤 ゆきひろの ちょこっとタイム



後援会便り <No.19号> 2012年 9月1日発行

ごあいさつ

感動のオリンピック・海水浴・帰省・旅行等 たくさんの思い出を残して夏休みが過ぎ、ふと日暮れが早くなったことに気づく この頃です。

皆様には どのような夏を お過ごしになつたでしょうか。

昨今のテレビ・新聞の報道では連日、政権運営をめぐる駆け引きが熱を帯びる中、その隙を突くかのように 竹島や尖閣諸島等の領土問題が日本列島を揺るがし、重大な“地殻変動”を引き起こさんとする懸念を伝えています。

このような緊急事態では、毅然とした態度で 全党一丸となって 問題解決に取り組んで頂きたいと思つています。

一方、我が刈谷市議会では一年の役職任期を終え、新たな顔ぶれによる人事で議会運営がスタートしました。

市民の負託に応えるべく議会を目指し、気持ちも新たに 行政のカウンターパートナーとしての役割を担い、今後も精進して参ります。



刈谷市議会議員

【後援会事務所】	
刈谷市一里山町金山100番地 (トヨタ車体労働組合内)	
Tel.	0566-36-3870
Fax.	0566-36-6272
E-mail	itou@bwcom.or.jp



歳時記

9月 1日 (土) 防災の日	初秋の喜びの一つは、自然の
7日 (金) 白露	実りを堪能することでもあります。
9日 (日) 重陽の節句	もぎ立ての茄子・オクラ、獲れ立ての
17日 (月) 敬老の日	鯖や秋刀魚、瑞々しい梨やリンゴ…
19日 (水) 彼岸入	厳しい暑さを乗り越え、頑張った
22日 (土) 秋分の日	からだにご褒美を上げましょう。
30日 (日) 十五夜	

伊藤 ゆきひろの ちょこっと情報 !!



刈谷 良いトコ ♪



喧騒を逃れて幹線道路を一つ入るとそこは別世界。緑の木陰とせせらぎを伴った石畳風の遊歩道がどこまでも続きます。

← さて、ここはどこでしょう？

8月1日発行の<No.18号>の答えは、半城土西町のミササガパークの吹上げシャワーでした。川のほとりの緑豊かな公園は、ヤングのバーベキューや家族連れに大人気です。



“ススキ” への招待 ☆

いまだ暑さが残る今日この頃ですが、夕方そよ吹く涼風に誘われ川辺を散歩していると、花穂の垂れたススキが目にとまります。

中秋の名月にはお団子と並んで連想されるススキ、秋を先取りした気分になります。

イネ科ススキ属に分類されるススキは、秋の七草（尾花＝ススキ、女郎花、桔梗、撫子、藤袴、葛、萩、）の一つにも数えられ、古来より歌人たちに愛されて来ました。

決して華やかとは言えないススキに 趣を見出すのは、日本人独特のセンスなのかもしれませんね。

数本のススキを眺めるのも風流ですが、オススメは群生地です。

奈良県の曾爾高原や箱根の仙石原は有名で、夕暮れ時に辺りを見渡せば、まるで一面黄金の絨毯 ☆

秋の静寂に、穂波を渡る風の音をお楽しみ下さい。

9月の行事予定

- 9月 5日 (水) ～ 25日 (火) 9月定例議会
- 15日 (土) 全トヨタ労連定期大会
- 16日 (日) 元刈谷刈エーソ大会・敬老会
- 18日 (火) 議会基本条例特別委員会
- 21日 (金) 秋の交通安全運動ピラ配り

“まじめに、
コツコツ、
即実行”
頑張ります!!



8月のフットワーク

8月刈谷市 臨時議会報告

<会議日程> 8月8日(水)

8月の臨時議会は議会三役および各種委員会委員の選任が主な議題
(役職任期は一年、毎年8月に改選が行なわれる)

<新三役の改選結果>

役職	議員名(会派名)
議長	沖野 温志(市民クラブ)
副議長	星野 雅春(清風クラブ)
監査委員	山内 智彦(市民クラブ)

私が所属する市民クラブ会派から議会代表の議長が誕生しました。
私も所属する委員会が増え、少し忙しくなりますが、視野を広める良い機会と捉え、一生懸命取り組んで

<私が所属する常任委員会>

常任委員会名	改選前	改選後
企画総務委員会		
福祉経済委員会		○
建設水道委員会	○	
文教委員会		
議員運営委員会		○
政治倫理委員会		○
議会広報委員会		
議会基本条例特別委員会		○

★臨時議会前に議員懇談会があり、以下の2点について行政当局より説明

□ 納税推進室元徴収嘱託員による徴収金着服について

H21年5月11日～H24年3月30日までの間に21名の方から徴収した税金404万5,400円を着服したことが本年6月11日に判明。
既に元徴収嘱託員から全額弁済されたが、業務上横領罪で告訴となった。

徴収業務のチェック機能強化のための再発防止委員会設置し、徴収業務の仕組みの見直しや、全職員に公務員倫理の再教育を実施するなど、再発防止策の説明を受け質疑応答を行なった。

□ 災害廃棄物の試験焼却について(県からのアンケート調査の回答)

震災廃棄物の広域処理の目処が立ってきた現状の中で、受入れを実施する意義が不明確なため、市民の理解を得ることも困難と判断した。
なお、刈谷市は震災復興に現在も人的・物的支援を継続している。

各種行事に参加



市内全小学校の金管バンド部の演奏が披露されました。
ハイレベルな演



真夏の夜のイベント

くらしの相談

改善前



改善後



富士松中学北門の交通安全対策

改善前



改善後



野田町交差点南道路のヒビ割れによる振動対策

改善前



改善後



東境の用水路

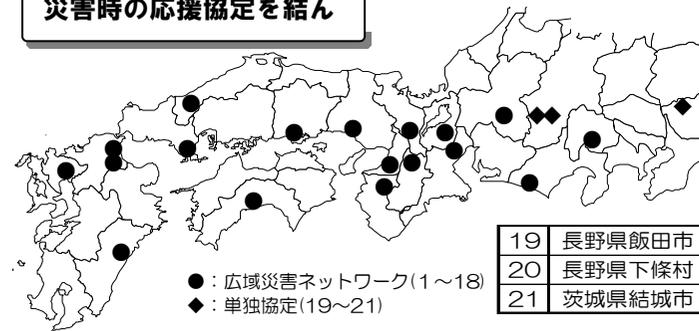
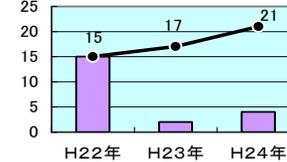
★★★ 市政ピックアップ ★★★

9月1日～防災週間

もう一度、減災極小化について考えてみましょう!!

刈谷市は、21の市町と災害時の応援協定を結ん

災害時総合応援協定締結件数



19	長野県飯田市
20	長野県下條村
21	茨城県結城市

1	佐賀県神埼市
2	福岡県行橋市
3	福岡県苅田町
4	山口県柳井市
5	島根県益田市
6	岡山県玉野市
7	兵庫県高砂市
8	京都府八幡市
9	滋賀県野洲市
10	岐阜県可児市
11	山梨県甲府市
12	静岡県磐田市
13	三重県亀山市
14	奈良県大和郡山
15	大阪府泉大津市
16	和歌山県橋本市
17	高知県香南市
18	宮崎県日向市

ちよこっと情報

トヨタ車体(株)から刈谷市に超小型EV車の『コムス』が寄贈されました。
(8月23日)



竹中市長も試乗し、ご機嫌でした。
今後、福祉健康課の保健師さんたちが育児支援の家庭訪問の際の足として活用されていきます。
環境にやさしいコムスが、人にやさしい仕事で活躍します。